

作者経歴

現在、近畿地方に住んでいて性別は男。作家活動として、油画・水彩画等の制作・発表を行っています。個展の他、幾つかの公募展・グループ展に出品しています。

個展は今回で3度目で、前回（横浜）から7～8年ぶりです。京都での展示は「月のアート展」（京都府相楽郡のけいはんな記念公園内ギャラリー）以来です。

あいさつ — 福谷 優

2020年に公開したホームページに掲載している作品と、時間が経過して傷んだ作品を補修したので、再展示します。

作家ホームページ <https://2020-11-06-trip-often.cyou>

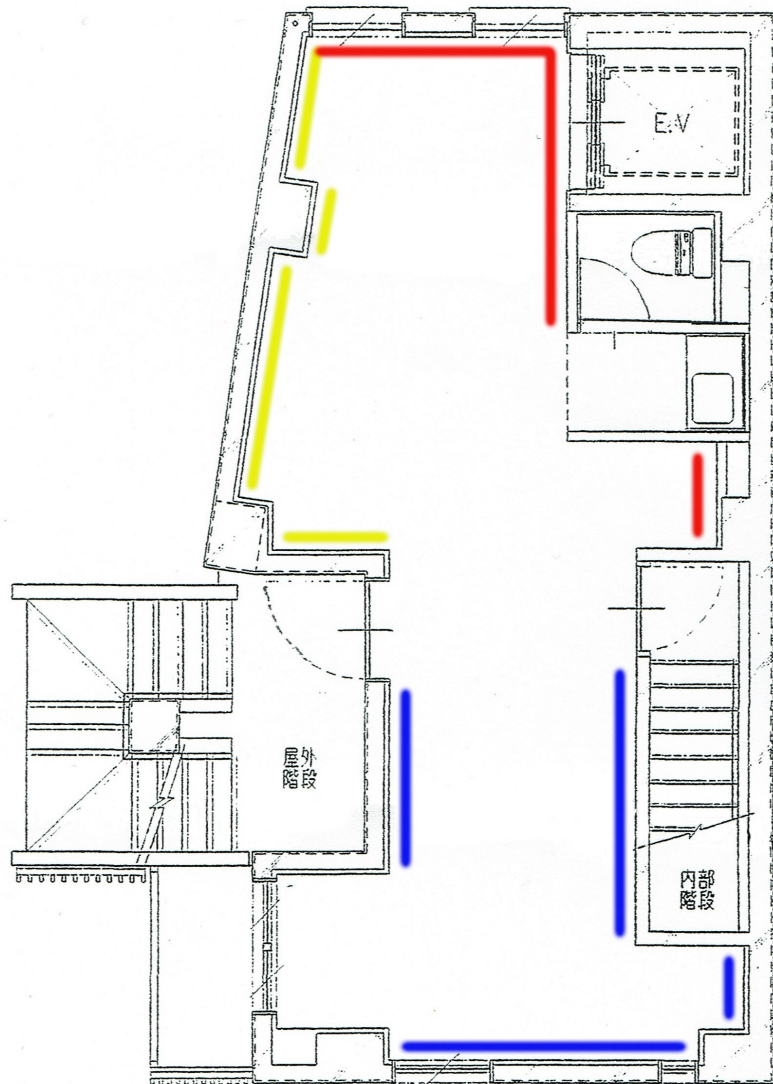
私のWebサイトと本展示で、作者も以前の作品も知らない人にも、作者の観てきたものや気持ちや考えなどを表示できる展示を目指しています。

Webサイトには掲載されているが未発表・未展示の作品があったり、修復作品があったりしますが、皆様からの話を聞くことで貴重な時間と経験になればと思います。

人が私の作品を観ることで絵画・表現・感性・空間として展示することの良さや、気持ちを豊かにすることを表示できればと思っています。

また、多くがWebサイトの文章によりますが、前回個展にあったテーマも形に出来ているかもしれません。稚拙・未熟・統一感のなさ・短命または先の見えない将来性・評価の低さ等々だったと思います。

今回も飽きもせず、そういった作家性と世間、その楽しみなどの表示も試みています。



青色の範囲は写実・具象作品
赤色の範囲は表現を主にする作品
黄色の範囲は修復作品

展示する作品の特徴

ギャラリーの展示スペースを写実・具象、表現、修復の3つの特徴に分けて展示します。
写実・具象は油画、デッサン、スケッチ作品で構成されます。
表現は油画、デッサン、ドローイング、コラージュ作品。
補修は私のWebサイトに載っていない、年月の経った油画作品を直しました。

現在・最近描かれた作品と共に、絵の状態が幾らか回復した・リニューアルした作品を、同じ空間に展示する事で違いが見えてくるかもしれません。
作風が過去より変わった事の手掛かりになるかもしれません。
補修作品の方がいいかもしれません。
見てみて、比べてみれば面白味を見つけられるかもしれません。